

令和5年度 第3回
札幌市新型インフルエンザ等対策有識者会議

日 時 令和5年11月9日(木)19時00分から
会 場 札幌市保健所 2階 大会議室

次 第

1. 開 会
2. 報 告 事 項
 - (1) 札幌市における新型コロナウイルス感染症対策の検証
3. 説 明 事 項
 - (1) 前回会議の結果・専門家会議等を踏まえた主な対応
 - (2) 札幌市感染症予防計画(案) (パブリックコメント用)
 - (3) 数値目標(案)
 - (4) 今後のスケジュール
4. 閉 会

1. 開 会

○ 感染症計画担当課長（石田）

それでは、定刻よりも若干早いのですが、委員の皆様がお揃いになりましたので、ただいまから第3回札幌市新型インフルエンザ等対策有識者会議を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

私は、本日進行を務めさせていただきます、札幌市保健所感染症計画担当課長の石田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、配付資料の確認をさせていただきます。

お手元には、次第、座席表、資料1から資料6、参考資料を配付させていただいております。各資料の右上に資料番号を付しておりますので、揃っていることをご確認ください。よろしいでしょうか。

本日の会議は1時間程度を予定しております。

また、本会議の冒頭の報告事項は公開となっておりますが、報告事項の以降は非公開情報を含みますので、報道機関の方におかれましてはご退出されるようお願いいたします。

本日は、北海道保健福祉部感染症対策局の村松委員より欠席する旨のご連絡をいただいております。新型インフルエンザ等対策有識者会議の規則に基づきまして、委員の過半数の出席となりますので開催要件を満たしております。

それでは、以後の議事の進行につきましては多米委員長にお願いしたいと存じます。

多米委員長、よろしくお願いいたします。

○ 多米委員長

皆様、こんばんは。寒くなつてまいりまして、週末は雪の予報でございます。

本日、皆様のご協力をいただきながら円滑に議事を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2. 報告事項

（1）前回の振り返り

○ 多米委員長

本日の会議ですけれども、報告事項が1題、説明事項が4題となっております。これらにつきまして、順に事務局からご説明をいただきまして、その後、項目別に質疑を行っていきたいと思っております。

それでは、事務局、説明をお願いいたします。

○ 計画担当係長（川西）

計画担当係長の川西からご説明いたします。

まず、報告事項ですが、札幌市における新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）対応の検証について、ご説明いたします。

資料1をご覧ください。

こちらは、前回の会議の中でも検証報告を進めている旨をご報告いたしましたが、こちらの検証報告書もまだ案の段階ですが、ある程度、形がまとまった段階になりましたので、ご報告いたします。

資料1の概要版と合わせて、参考資料として本書の検証報告書も添付しておりますので、後ほどご確認くださいようよろしくお願いいたします。

資料1左上の目的をご覧ください。

こちらの検証報告書ですが、札幌市の3年以上にわたる新型コロナへの対応、この経験を今後の感染症の危機に生かすことが大変重要であることから、この3年間の取組を振り返り、将来に向けた検討を進めることを目的として本書を作成しております。

その下、2の市内陽性者数の推移につきましては、第1波から第8波の患者数の推移を示したグラフとなります。

つぎに、3の取組検証から実際に行った取組について、また、その振り返りについてご説明をいたします。この検証報告書は、取組を六つの項目に分類しまして、項目ごとに実施した取組について整理しております。

一つ目、左側の実施体制をご覧ください。

札幌市は、新型コロナが発生してから保健所体制の強化・整備を図るとともに、全庁一体となった感染症対策を進めてまいりました。

今後に向けて、従来の保健所体制から全庁体制へ迅速に切り替えていくこと、また、平時からの医療機関との連携の強化を推進していくことを併せて、この予防計画に反映してまいります。

また、初動体制の強化が重要となるため、そちらを今後、改定を予定しております行動計画、また、マニュアル等に反映していくことを今後に向けての取組と考えております。

加えて、保健所の人員体制も業務継続計画となりますBCPを改定する中で、必要な保健所体制の人員確保を感染症危機に向けた備えとして進める必要があると整理しております。

二つ目、サーベイランス・情報収集です。

こちらは感染症の発生状況についてどのような取組を行ったかということをご記載しております。

三つ目、右上の情報提供・共有についてご覧ください。

札幌市は、ホームページ、SNS等を活用するほか、報道機関の皆様のご協力をいただき、また、市長記者会見を通じた情報発信等を実施してまいりました。

今後に向けて、こういった適切な情報発信の体制や手法等を検討することが必要であると考えております。

続きまして、予防・まん延防止は割愛しまして、五つ目、医療についてご説明いたします。

まずは、相談体制についてです。こちらは、救急安心センター#7119における帰国者・接触者相談センター機能の確保、また、新型コロナに関する一般的な相談を受けつける一般電話相談窓口の早期開設を行いました。

また、流行拡大期にはこういった相談の機能を拡充するためにWEB7119を開設するなどして、市民からの相談体制の確保に努めてまいりました。

今後に向けて、外部のコールセンター等を早期に活用できるように備えていくとともに開設手順の整理などに努めてまいりたいと考えております。

続いて、検査体制についてです。検査につきましては、流行初期からPCRセンターを開設したほか、流行株の特性も考慮した体制を整備し、抗原検査キットの配付や陽性者登録センターの開設等を実施してまいりました。

今後も医療機関、札幌市医師会、また、民間検査機関にご協力をいただけるような連携体制を構築してまいりたいと考えております。

続いて、病床確保についてです。札幌市内の医療機関にご協力をいただきながら、新型コロナの入院受入病床の拡充を随時行ってまいりました。

今後に向けて、平時から各医療機関と役割分担等を整理しながら、速やかに有事体制に移行できるような体制の構築に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、裏面をご覧ください。

左上の判定プロセスについてご確認ください。札幌市は、検査結果の告知を電話連絡からショートメッセージへ転換するとともに、ご自身の療養をどこで行えばいいか等を自動判定する療養判定サイト等の開設を行ってまいりました。

これらの取組と同様に、自動化・ICT化を前提とした業務フローの構築といったものが今後の感染症危機の備えに対して必要であると考えております。

続きまして、その下、入院調整についてご覧ください。入院調整につきましては、病床の状況を共有するシステムを大学の協力により開発したほか、入院調整の円滑化を図ってまいりました。

また、流行拡大時には入院待機ステーションを開設するなどの対応を行ってまいりました。

今後に向けて、医療機関との情報共有や連携によって、入院が必要な患者を適切な医療につなげていける体制づくりが必要であると考えております。

続きまして、その下、積極的疫学調査のクラスター対策についてご覧ください。

高リスク施設等に対し、必要に応じて感染対策等の助言を行いながら、大規模なクラスターが発生した場合に現地対策本部を設置するなどの対応を行ってま

いりました。

今後に向けて、クラスター対策を推進するためにも専門機関の支援を要する場面を想定した平時からの連携が大変重要であると考えております。

続いて、右上のワクチン接種体制の整備についてご確認ください。新型コロナのワクチンにつきましては、各医療機関のご協力において個別接種を中心に集団接種会場を設置するなど接種体制を拡充してまいりました。

加えて、高齢者施設等においては訪問接種を行う、また、事業者におかれましては職域接種を行うなど、新型コロナのワクチン接種を迅速に促進してまいりました。

今後に向けて、感染状況に応じて速やかに接種が開始できるよう平時から関係機関の皆様と連携体制を構築していくことに努めてまいりたいと考えております。

そのほか、保健所体制や生活・経済の安定確保について、それぞれ主な取組として行ってきた事項について記載しております。

続いて、2枚目をご覧ください。

左上、市民アンケートの結果について記載しております。

こちらは、新型コロナウイルス感染症が5類化して以後、市民アンケート、インターネットアンケートを活用して市民の意識調査を実施しました。

調査方法については、こちらに記載しているとおり、約500名を対象として設問数30問として行ったものとなります。

この中で、主立ったものについてご説明いたします。

まず、一つ目、新型コロナの影響で困ったことという問いに対して、外出制限などの行動制限、友人等の交流機会の減少がそれぞれ56.3%、44.2%と高い回答割合になりました。

二つ目、札幌市が行った新型コロナ対応について評価できるという問いに対して、ワクチンの接種体制が約34%、続いて、市長記者会見などを通じた情報発信という結果になりました。

また、その下に評価できる項目はないという厳しいご意見もいただいております。

三つ目、札幌市の新型コロナの対応について評価できないと考える事項について、同様にアンケートを取っております。こちらは、該当する項目がないが46.9%、続いて、情報発信、医療提供体制全般というご意見をいただいております。

最後に、新型コロナと同じような感染症が発生した場合に、札幌市にどのような施策を実施してほしいかという問いに関しましては、医療提供体制の強化が66%と最も高い回答割合となりまして、続いて、検査体制の拡充という結果になりました。

最後に、右側に専門家の意見を記載しております。こちらは、新型コロナ対応のための専門家会議で、新型コロナが発生して以後、危機管理局で設置している組織となります。

10月4日（水）の専門家会議の中で同様に検証報告についてご報告しまして、いただいた意見を掲載しております。

主なものとしましては、一番上の初動対応についてご意見をいただいております。

また、感染症対応の人材については、平時から情報収集して即時に対応できる人材を確保する必要があるというご意見をいただいております。

丸の三つ目、平時からの備えにつきましては、平時から病院や医療機関、関係機関における協力体制や役割分担を決めて訓練をしておくことが必要であるというご意見をいただいております。

また、丸の四つ目、自然災害との関係につきましては、感染症と自然災害が同時に起きた場合を想定した対策の検討を行うことが重要であるというご意見をいただいております。

このような専門家からのご意見、また、検証報告で出た今後への取組につきましては、この感染症予防計画（案）に反映させるとともに、今後、改定を予定しております新型インフルエンザの行動計画、BCP、こういった関連計画で、より具体的に反映してまいりたいと考えております。

私の説明は以上です。

○ 多米委員長

ありがとうございました。

新型コロナに対する検証報告書の概要を説明していただきました。すごく膨大な概要ですが、何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

実は札幌市はいろいろなことを早くから着手していきまして、下水サーベイランス、＃7119、発熱外来、入院待機ステーションなど、全国に先立って行っていることがたくさんあったのに、あまりアピールしなかったのかなという気がしていて、市民アンケートの抜粋を見ていて、もっともっとワクチンの接種体制とかいろいろなものを評価していただけるのかなと思いました。

しかしながら、なかなかそういうふうな高い評価はまだ得られていないというのが個人的な感想です。そういうご意見も聞き、次の感染対策に活かしていくということですけれども、実は札幌市はすごく一生懸命やっていたなと個人的には思っています。何かご意見等ございますか。よろしいですか。

（な し）

3. 説明事項

(1) 前回会議の結果・専門家会議等を踏まえた主な対応

○ 多米委員長

続きまして説明事項の一つ目について、事務局から説明をお願いいたします。

○ 感染症計画担当課長（石田）

以後の議事は非公開となりますので、報道機関の方はご退出願いたいと思います。

(報道機関退出)

(報道機関関係者退出、以下非公開情報)